

第7章

事柄について調べるには

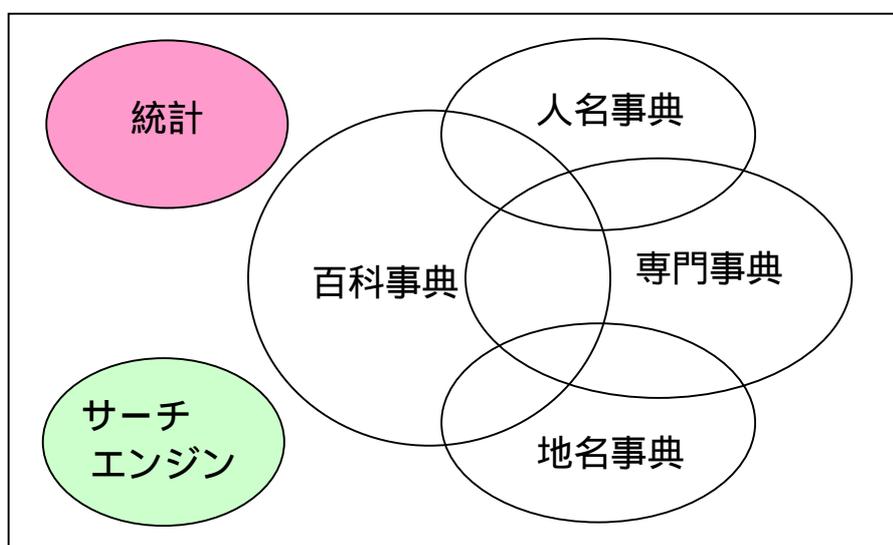
図書や雑誌論文、新聞記事などの文献のほか、人名や地名、用語などの事柄を調べるときに有用なツールがあります。

事柄を調べるためには、どのようなツールがあり、どのように利用することができるでしょうか。

7.1 事柄について調べる

ここまでは、過去にどのような研究がなされてきたかを知るために、学術的な文献情報や所在を探す方法を説明してきました。第7章では、人名や地名、名称、用語、事象などの「事柄」を調べる方法やツールについて、百科事典・人名事典・地名事典・専門事典・統計・サーチエンジンに分けて説明します。

この章で紹介するツールは、主に図書館の「参考図書コーナー」に配置されています。何かわからないことがあれば、これらのツールでどんどん調べる習慣をつけましょう。そうすることで知識や研究をより広げることができます。



図表 7-1 事柄を調べるためのツール

コラム 参考図書とは

図書館での「参考図書」とは、学習参考書や参考文献のことではありません。参考図書は、最初から最後まで「読む」ものではなく、ある言葉や事柄を「調べる」ための図書です。参考図書には、書誌・目録などの文献を調べるための図書と、辞書・事典・便覧・ハンドブック・地図・統計・年鑑・図鑑などの、事柄を調べるための図書が含まれます。最近では図書だけでなく、CD-ROM やウェブサイトなど、調べるためのツールの形態は多様化しています。これらすべてのツールを含めて、「レファレンスツール」とも呼ばれています。

7.2 百科事典

7.2.1 百科事典

「百科事典 (Encyclopedia)」は、何かの人名、名称、地名、事象などを調べたいとき、まず大きな概要を知るために便利なツールです。各項目についてわかりやすくまとめられています。また、著者や参考文献が添えられている場合は、それを手がかりにさらに調査を進めることができます。

百科事典を使うときは、最初に「索引」を引くことを忘れないでください。自分が知りたい事柄が、ほかの見出しでも収録されていることがあるからです。その事柄についてあまり知らないときは、特に有用です。それでも見つからない場合や内容が不足する場合は、人名事典、地名事典、専門事典も調べてください(7.3～7.5参照)。

百科事典の中には、冊子体のほかにも CD-ROM やウェブで利用できるものがあります。それぞれの特徴を理解し、使いわけてください(2.3参照)。

ここであげる百科事典のほかに、外国語のものなども多数所蔵していますので、図書館の参考図書コーナーで探してみてください。

■ 『世界大百科事典』 平凡社

専門的な内容もわかりやすく解説されています。参考文献はありません。外国語は欧文索引があり、カタカナ表記がわからないときに便利です。この百科事典は以下の3種類のメディアで利用できます。

冊子体 (全35巻) 1988:本館 RC [UR1/20]・北分 [UR1/6]・医分 [UR1/SE22S]・1972:農分 [031/S]

白黒の図版が主ですが、カラー挿入ページもあります。

CD-ROM (第2版プロフェッショナル版) 1998:本館 RC

関連項目や著者にハイパーリンクがあります。図版は一部分のみ収録されています。

ウェブ 『ネットて百科@HOME』

(<http://ds.hbi.ne.jp/netencyhome/>) 有料

月刊百科・図鑑・ニュース映像・地図なども収録しています。料金は、コンビニエンスストアなどで電子マネーを先に買ってから使うプリペイド方式です。

- 『日本大百科全書』 小学館
カラーの図版が多く、わかりやすい百科事典です。解説の最後に参考文献が添えられている項目もあります。欧文索引はありません。
この百科事典は、以下の冊子体とウェブで利用できます。

冊子体 (全25巻) 1994: 本館学閲 [UR1/042] ・ 北分 [UR1/1]
ウェブ 『LYCOS ディクショナリ 百科事典 (ポケット版)』
(<http://dic.lycos.co.jp/ecp/>)
各項目を短くまとめた抄録の形で収録しています。

- 『ブリタニカ国際大百科事典』 TBS ブリタニカ
1995 (全20巻 + CD-ROM): 本館 RC [UR2/05] ・ 工分 [030/3]
1994 (全27巻): 医分 [UR1/B92B] ・ 北分 [UR1/3]
少ない項目数で体系的に解説されている「大項目事典」と、多くの項目数で簡潔に解説されている「小項目事典」の2本立ての百科事典です。

7.2.2 現代用語事典

百科事典には収録されていない、最新の用語を調べるときは、次にあげるような現代用語事典が役に立ちます。年刊なので、発行された年の流行なども概観できます。

- 『現代用語の基礎知識』 自由国民社
2003: 本館学閲/RC ・ 医分 ・ 工分 ・ 北分
- 『知恵蔵』 朝日新聞社 2003: 本館学閲/RC
- 『情報・知識 imidas: イミダス』 集英社 2003: 本館学閲/RC ・ 北分

例題 「スピネット」という楽器があるそうだが、どのようなものか。

回答例 まず、百科事典の索引をひきます。『世界大百科事典』や『ブリタニカ国際大百科事典』に「スピネット」の項目があり、ハーブシコードの一種であることがわかります。
『ラールス世界音楽事典』などの専門事典も調べます (7.5 参照)。

7.3 人名事典

「人名事典 (Biography)」には、分野や国によってさまざまな種類があります。その中から最適な資料を選ぶためには、次のようなポイントがあります。

- 地域：どこの国の人物か、日本人か外国人か
- 分野：どのような分野の人物か、専門的な事典が必要か
- 時代：いつの時代の人物か、現存者か物故者か

さらに注意すべき点として、事典によって生没年などの記載が異なる場合がありますので、複数のツールを調べるようにしてください。

ここでは、一般的な人名事典を紹介しますが、最近話題となった人物の場合は、人名事典にはまだ収録されていないことがあります。その場合は雑誌（4章参照）や新聞（5章参照）、サーチエンジン（7.7参照）などで調べてみてください。

7.3.1 日本人を調べる

- 『日本紳士録』 ぎょうせい 2002：本館 RC
- 『人事興信録』 人事興信所 1996：本館 RC
日本人と在日外国人を収録した、隔年発行の人名録です。特に、出版当時に活躍していた政治家や実業界などの公的な人物を探すときに便利です。
- 『日本人名大事典』 復刻版 平凡社
1979：本館 RC [GB12/015] ・ 農分 [281/030]
旧漢字・旧仮名使いのため読みにくいかもしれませんが、1978年までに故人となった日本人を調べるときに便利です。肖像や典拠文献が付けられている場合もあります。
- 『著作権台帳』 日本著作権協議会 2000：本館 RC
「文化人名録」の別称があり、没後50年以内の作家などの文化人を探すときに便利なツールです。著作だけでなく略歴や連絡先を知ることが可能です。現存者と物故者に分けた、分野ごとの編集になっています。

7.3.2 外国人を調べる

外国人を調べる場合は、ミドルネームや日本語のカタカナ表記などに注意する必要があります。例えばカタカナ表記の場合、「ビクトリア」「ヴィクトリア」のようにツールによって表記方法が違う場合があります。まず一つのツールで正確なつづりがわかると、さらに欧文索引が付いたツールや外国ツールを調べる際に役立ちます。

ここでは日本で出版された人名事典を紹介しますが、外国で活躍した人物はその国で発行された事典の方が詳しく解説している場合が多いので、それらを参照するようにしてください。

- 『岩波 = ケンブリッジ世界人名辞典』 岩波書店
1997 : 本館 RC [GK2/053] ・ 工分 [280.3/2], 1998 : 工分 [CD-ROM]
『The Cambridge biographical encyclopedia』の日本語版です。現代の欧米人を中心に収録しています。氏名はカタカナで表記されており、欧文索引もあります。

- 『岩波西洋人名辞典』 増補版 岩波書店
1981 : 本館学閲/RC [GG12/01] ・ 医分 [GG12/1951]
古代から現代の外国人（東洋人・架空人物も含む）が収録されています。特に、日本と関わりの深い人物を調べるときに便利です。主な著作や参考文献も含められています。氏名はカタカナで表記されており、欧文索引もあります。

- 『Who's who』 Adam & Charles Black 2002 : 本館 RC
『Who's who』は現存者を収録していますが、亡くなると『Who was who』に収録を移されます。このツールは英国人が中心ですが、ほかにも『Who's who in China』などの各国版や、『International who's who in music』などの専門分野ごとに出版されているものも多数あります。

7.3.3 専門的な人名事典

人名事典には、範囲を絞った専門的なものがあります。これらには、普通の人名事典には載っていない人物も収録しており、また載っている人物であっても、より詳しく解説されていることがあります。一例として、地域、分野、時代によるツールを紹介します。

- 『仙台人名大辞典』 歴史図書社 1974：本館 RC [GB12/04]
元亀(1570) から昭和7年(1932) までの、仙台藩領内の人物事典です。
- 『科学者人名事典』 丸善 1997：本館学閲/RC [M12/09]
古代から現代の、欧米人を中心とした科学者たちの小伝を収録しています。
- 『江戸幕臣人名事典』改訂新版 新人物往来社 1997：本館 RC [GB397/07]
江戸時代の幕臣・大名・職人等を収録しています。

また、専門的な人名事典の一つに、大学などの研究者を調べるためのものもあり、研究分野や略歴がわかります。授業や研究室を選択する際の参考にできるかもしれません。

- 『東北大学研究者総覧』 東北大学 2000：本館 RC [F2/0130]
東北大学に在籍する研究者の研究テーマや著作などがわかります。追録も発行されています。
- 『研究者・研究課題総覧』 紀伊國屋書店
1996：本館 RC ・ 医分 ・ 北分 ・ 工分 ・ 農分
大学などの研究機関に在籍する研究者を探るときに便利なツールです。研究テーマや学歴、主な著作などがわかります。退職者を調べる場合は、その人物が在籍していた頃の版を調べてください。

- 『ReaD 研究開発支援総合ディレクトリ』 科学技術振興事業団
(<http://read.jst.go.jp/>)

研究者名だけでなく、研究機関や研究課題からも検索できます。毎年更新されるので、最新情報を知ることができます。



図表 7-2 ReaD 研究開発支援総合ディレクトリ

コラム 事典・辞典・字典の違いとは？

ツールによって、同じ「じてん」でも、「事典」「辞典」「字典」と漢字が違うことに気づいたでしょうか。ツールによってその通りに使われているとは限りませんが、おおむね次のような違いがあるとされています。

- 事典 = コト-テン 事柄の解説 (例：百科事典)
- 辞典 = コトバ-テン ことばの解説 (例：国語辞典)
- 字典 = ジ-テン 字の解説 (例：漢字字典)

7.3.4 人名事典を調べる事典

調べたい人物が、どの人名事典に載せられているのかわからないときに便利なツールです。どの人名事典に載っているのかわかったら、オンライン目録を検索して図書館にあるかどうか調べてください。ただし、海外のものや専門的なものなど、収録されていない事典も多数ありますので注意が必要です。

- 『人物レファレンス事典』全4巻 新訂増補版 日外アソシエーツ
2000：本館 RC [GK2/018]

- 『外国人物レファレンス事典』全7巻 日外アソシエーツ
2002：本館 RC [GK2/059]

日本で出版された人名事典に収録されている人物について、簡単な説明と典拠となる事典の情報を収めています。外国人は、アルファベット順（西洋人）と漢字の画数順（東洋人）にまとめられており、国籍や概略などの情報も含まれています。

例題 一般相対性理論を完成させたアインシュタイン博士の、生没年と主な業績が知りたい。

回答例 西洋人なので、『岩波=ケンブリッジ世界人名辞典』や『岩波西洋人物辞典』などを調べます。両者とも索引は欧文索引のみなので、直接カタカナのよみで引きます。ここで氏名の綴り(Einstein, Albert)と生没年(1879-1955)、略歴がわかります。
科学者なので、『科学者人名事典』などの専門的な事典を調べると、さらに詳しい業績がわかります。
著名な人物なので、百科事典や単行本の伝記なども調べます。

7.4 地名事典

「地名事典 (Gazetteer)」も、国や地域に応じて数多くのツールがあります。ツールの選択には、次のようなポイントがあります。

- 地域：どの国のどの地域か、日本か外国か
- 内容：何が知りたいのか、地名・地図など
- 時代：現在か過去か

7.4.1 日本の地名事典

- 『日本歴史地名大系』全50巻 平凡社（継続刊行中）本館 RC [GB11/012]
都道府県別の巻立てで、本文は市町村ごとの編集となっています。地域的なつながりやその地域の歴史を調べたいときに便利です。参考文献も含まれています。
- 『角川日本地名大辞典』全51巻 角川書店
1990：本館学閲/RC [GB11/010]・北分 [GB11/5]・農分 [291.03/KA14]
都道府県別の巻立てで、本文は地名の50音順になっています。古代から現在にかけてのその土地の歴史を調べたいときに便利な地名事典です。
- 『現代日本地名よみかた大辞典』全7巻 日外アソシエーツ
1985：本館 RC [GB11/027]
読み方がわからないときの参考になります。配列は漢字の画数順です。

例題 仙台市青葉区の「米ヶ袋」という地名の由来は何か。

回答例 『角川日本地名大辞典』の第4巻、宮城県編で調べてみます。この事典には地名索引がないので、直接「こめがふくろ」のよみからひくと、地形が由来であることがわかります。
もっと詳しく歴史などが知りたい場合は、巻末の参考図書・論文や『仙台市史』などの地誌も調べてみてください。

7.4.2 外国の地名事典

外国地名を調べるときは、日本語のカタカナ表記に注意する必要があります。例えば、「ベネチア」「ヴェネチア」のようにツールによって異なる場合があるからです。まず一つのツールで英語表記の正確なつづりを調べておくと、ほかのツールを調べるときに役立ちます。

- 『世界地名辞典』全2巻 新版 東京堂出版
1980：本館 RC [G64/05] ・ 医分 [290.3/SE22] ・ 農分 [290.3/SE22]
西洋編と東洋編があり、欧文索引と漢字の画数索引があります。
- 『世界地名大事典』全8巻 朝倉書店
1973-1974：本館 RC [G64/01] ・ 医分 [G64/SE22S]
カタカナ表記の50音順ですが、欧文索引があります。

7.4.3 地図

場所や地形を知りたいときに役に立つのが「地図 (Atlas)」です。以下に紹介するような日本地図・世界地図のほかに、道路地図・住宅地図・歴史地図などもあります。

- 『新日本分県地図』 国際地学協会
2001：工分 [291.038/1], 1999：本館 RC [G66/02], 1997：北分 [G66/3]
- 『ブリタニカ国際地図』 TBS ブリタニカ
1996：本館 RC [G71/01] ・ 工分 [290.38/4], 1994：医分 [UR1/B74B] ・ 北分 [G71/8]

7.4.4 内容によるその他のツール

ほかにも、目的によって次のようなジャンルのツールがあります。

- 地誌 : 『宮城県誌』、『仙台市史』など自治体で発行したもの
- ガイド : 『地球の歩き方』、『るるぶ』、『マップル』などの旅行ガイド
- 百科事典 : 『宮城県百科事典』など、都道府県ごとの百科事典
- データ : 『理科年表』、『河北年鑑』などの地理情報を記載しているもの

7.5 専門事典

7.5.1 専門事典

「専門事典 (Cyclopedia)」は、各分野ごとに用語や内容を編集した事典です。百科事典では載っていないような専門用語は、専門事典で調べてください。また、項目の最後に参考文献があれば、その文献も参考にするとより深く広く知識を得ることができます。各事典の凡例に収録基準などが書かれているので、調べる前に読むようにしてください。

専門事典は各分野ごとに数多く発行されているので、ここですべてをあげることはできません。ほかにどんな事典があるのか、図書館のオンライン目録で、「辞典」「事典」「大事典」「大辞典」「体系」「大系」「便覧 (ベンラン/ピンラン)」「ハンドブック」などの言葉を入れて検索してみてください(3章参照)。

(1) 人文・社会科学系

- 『日本国語大辞典』全13巻 第2版 小学館
2002 : 本館 RC [KF3/01] ・ 医分 [KF3/N77N]
- 『大漢和辞典』全13巻 修正第2版 大修館書店
1990 : 本館 RC [KF4/01] ・ 医分 [KF4/D21D]
- 『国史大辞典』全15巻 吉川弘文館 1997 : 本館 RC [GB8/034]
- 『岩波哲学・思想事典』 平凡社 1998 : 本館学閲 [H2/062] ・ 医分 [H2/1951]
- 『The Oxford English dictionary』全20巻 第2版 Clarendon Press
1989 : 本館 RC [KS12/35] ・ 工分 [833/4]
- 『ラレーズ世界音楽事典』全2巻 福武書店 1989 : 本館 RC [KD2/048]
- 『新教育学大事典』全8巻 第一法規出版 1991 : 本館 RC [F2/0101]
- 『新法学辞典』 日本評論社 1991 : 本館学閲/RC [A112/0158]
- 『経済学大辞典』全3巻 第2版 東洋経済新報社
1980 : 本館学閲/RC [D2/0164] ・ 農分 [330.3/KE29K]

(2) 自然科学系

- 『マグローヒル科学技術用語大辞典』 日刊工業新聞社
2000：工分 [403/8] ・ 農分 [403/M], 1996：本館学閲 [M2/051]
・ 医分 [M2/MA29M] ・ 北分[M2/38], 1998：工分[CD-ROM]
- 『岩波数学辞典』 岩波書店
1985：本館学閲 [MA2/02] ・ 北分 [MA2/2] ・ 工分 [410.3/2]
- 『岩波理化学辞典』 第5版 岩波書店
1998：本館学閲 [M2/07] ・ 医分 [PA2/I95I] ・ 北分 [M2] ・
工分 [403.3/1] ・ 農分 [403.3/I95], 1999：工分[CD-ROM]
- 『理科年表』 丸善 2002：本館学閲/RC ・ 医分 ・ 北分 ・ 工分 ・ 農分
- 『メルクマニュアル』 第17版 日経BP社 1999：医分 [WB100/ME69M]
インターネット版 万有製薬 (<http://merckmanual.co.jp/>)
- 『農業技術大系』 全6編 農山漁村文化協会 1997：農分 [610.8/N93N]

7.5.2 専門事典を探すためのツール

事典などの参考図書を、分野ごとに紹介しているツールがあります。参考にしたいツールが見つかったら、図書館のオンライン目録で探して利用してください。

- 『日本の参考図書』 日本図書館協会 2002：本館 RC [UP42/05]
- 『年刊参考図書解説目録』 日外アソシエーツ 2002：本館 RC [UP41/025]

例題 「登呂遺跡」はいつ発見されたのか。

回答例 日本の史跡なので『国史大辞典』などの歴史事典を調べます。索引で「とろいせき」とひくと、解説文から昭和18年(1943)とわかります。有名な遺跡なので、百科事典や単行本なども参考になります。

7.6 統計

レポートや論文をまとめるとき、「統計 (Statistics)」の数値を論拠として活用することができます。統計は、多くの機関からさまざまな種類のものが発行されています。

7.6.1 日本の統計

統計データには、ウェブで公開されているものもあります。特に、多くの省庁では、統計専用のウェブサイトを設置しているため、探している統計に関する省庁に直接あたってみてください(6.6.1参照)。

- 『官公庁リンク集』 首相官邸
(http://www.kantei.go.jp/jp/link/server_j.html)

省庁ウェブサイトの例として、統計を専門に扱っている総務省統計局を紹介します。

- 『総務省統計局・統計センター』
(<http://www.stat.go.jp/>)
5年ごとに人口を調査する『国勢調査』や、総合的な内容の『日本統計年鑑』『日本の統計』『世界の統計』などのデータそのものをエクセル形式のファイルで見ることができます。

どの統計を見たらいいのかわからないときや、世の中にどのような統計があるのか知りたい場合は「統計索引(インデックス)」が役に立ちます。

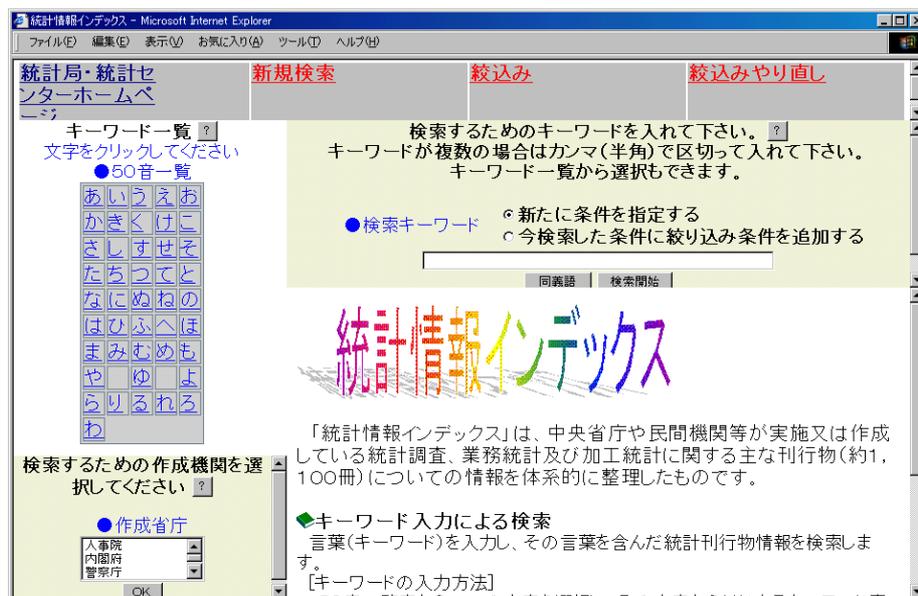
- 『統計情報インデックス』 総務省統計局
政府や民間機関で作成した統計資料を探することができます。このツールは、以下の冊子体とウェブで利用できます。

冊子体 2002: 本館 RC ほか

冊子体の索引を通覧することで、目的にあった統計や、関連する言葉を見つけることもできます。

ウェブ

(<http://www.stat.go.jp/toukei/index99/>)



図表 7-3 統計情報インデックス

7.6.2 外国の統計

- 『世界統計年鑑 1998』 原書房 2002：本館学閲・医分ほか
国際連合発行の統計書『Statistical Yearbook』の日本語版です。各国の状況を比較するのに便利です。
- 『World almanac and book of facts』 Newspaper Enterprise Association
2003：本館 RC
あらゆる分野の世界の統計情報を要約している年鑑です。

例題 日本的小学校の数を調べたい

回答例 ウェブ版の『統計情報インデックス』で「小学校」というキーワードで検索すると、いくつかの統計がヒットします。その中の『文部科学統計要覧』から、データを直接エクセル形式のファイルで見ることができます（平成12年(2000)：24,188校）。
文部科学省ホームページの「各種統計情報」サイトでも最新情報が入手できます（平成14年(2002)：24,106校）。昭和23年(1948)からの時系列版もあります。

7.7 サーチエンジン

これまでに紹介したような、いろいろな事典類や関係するウェブサイト調べてみたけれど、どうしても求める答えが見つからない場合は、「最後の手段」としてインターネットのサーチエンジンを使ってみてください。最後の手段といった理由は、サーチエンジンで検索されるウェブサイトの中には第三者のチェックを受けていない、信憑性のないものもあるからです(2.3.4参照)。よって、複数の事典やウェブサイトも参照し、正確で有用な情報を得るようにしてください。

ここでは代表的なサーチエンジンを紹介します。用途に応じて使い分けてください。

(1) ディレクトリ型サーチエンジン

ディレクトリ型サーチエンジンは、一定の基準に添ってウェブサイトを収集し、分野ごとに階層的に分けて提供しているものです。このタイプの利点は、同じ分野のウェブサイトを概観できることや、いらぬウェブサイトを排除しやすい点ですが、反対に検索漏れも起こり得ます。始めから目指すウェブサイトや分野が決まっている場合は、このタイプのサーチエンジンが便利です。

- 『Yahoo! JAPAN』(ヤフー ジャパン)
(<http://www.yahoo.co.jp/>)

『Yahoo! JAPAN』は、管理者や利用者から推薦されたウェブサイトを専門のスタッフが評価・分類して作成しているので、ある程度信頼のあるウェブサイトを見つけることができます。また、ニュースや天気情報など独自のウェブページも充実しています。各国版があります。

(2) ロボット型サーチエンジン

ロボット型サーチエンジンは、インターネット上に無数にあるウェブサイトを、検索ロボットと呼ばれるプログラムを使って定期的に自動収集する仕組みのものです。そのため、ディレクトリ型には登録されていないウェブサイトや、ウェブサイト中の全文から適合する言葉を探し出すことができます。しかし一方で、不必要なウェブサイトが多数検索されてしまうという面もあります。このタイプのサーチエンジンは、思いついたことばから、関係するウェブサイトを探すときに便利です。

- 『Google』(グーグル)
(<http://www.google.co.jp/>)

『Google』の特徴は、検索した言葉に対して関連度が高いと思われるページから順に表示することや、検索結果一覧画面でその言葉の使われ方がある程度わかること、イメージ画像を検索できることなどです。



図表 7-4 Yahoo! JAPAN と Google

コラム 事柄を調べるためのその他のツール

第7章では、事柄を調べるためのツールとして、事典を中心にツールの紹介をしました。しかしこれが全てではありません。ほかにどのようなものがあるのか、簡単に紹介します。

■ 便覧・ハンドブック

事典とよく似ていますが、名前のおり手にとって使いやすいよう情報がまとめられたツールです。内容はさまざまですが、実用的な内容のものが多く見られます。「便覧」には、「びんらん」「べんらん」の2種類の読み方があります(7.5参照)。

例)『液晶便覧』、『JIS ハンドブック』

■ 年鑑

1年間の概況や動向などをまとめた、年に1回発行される資料です。内容は、新聞社が発行する時事的なものや、専門分野のもの、統計・現代用語などさまざまです。『日本年鑑総覧』(日本図書センター発行 本館 RC 所蔵)を使うと、日本にどのような年鑑があるのかを調べることができます。

例)『朝日年鑑』、『英語年鑑』、『日本統計年鑑』、『知恵蔵』

■ 図鑑

特定分野の写真や図版を集めたツールです。文章ではわかりにくい内容でも、図で説明されるとよく分かる場合があります。

例)『原色日本植物図鑑』、『江戸の暮らし図鑑』